

---

1995・1・17

阪神・淡路大震災

---

— 西宮の記録 —

西宮市

## 発刊にあたって



西宮市長  
馬場 順三

平成7年1月17日未明に発生した「阪神・淡路大震災」は、42万市民が幾多の先人とともに営々として築き上げてきた西宮の街を、一瞬のうちに破壊し、1,127名の尊い命と幸せな暮らしを奪いました。こわれた家屋は半壊を含めると全市の約4割、6万世帯にものぼりました。

ここに改めて、このたびの震災により犠牲となられた多くの御霊のご冥福をお祈りいたしますとともに、ご遺族の方々と被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。

また、全国各地からいただいた心温まるご支援や、災害救助活動などに不眠不休でご協力を賜った自衛隊、警察、消防団、自治体の方々、献身的な活動をいただいたボランティアの方々など数多くの皆様に心からお礼を申し上げます。

あれから1年と10カ月、何よりも、被災された市民の皆様が、災禍にも負けず、沈着冷静にお互いに励まし合われ、たくましく復興に立ち上がられている姿に、深く敬意を表するものであります。

本市では、この震災を尊い教訓として、昨年6月に「安全、安心、そして希望に満ちた文教住宅都市」の実現をめざす「震災復興計画」を策定し、一日も早く、より安全で魅力あふれる街としてよみがえるため、全力を挙げて取り組みを進めているところであります。

私たちは、今回の震災の経験から多くのことを学び、反省し、その貴重な教訓を今後のまちづくりに生かしていかなければなりません。そのためには、今回の震災に関わる資料を散逸させることなく保存し、行政の活動を記録として正確に伝えていくことが必要であると考えております。

この記録誌は、被害状況、応急対策、復旧活動、復興への取組みなど、震災後概ね1年間の行政活動を中心にとりまとめたものであり、本市の復興事業や防災対策の貴重な基礎資料として活用していく考えであります。

最後に本誌の刊行にあたり、貴重な資料の提供などにご協力いただきました関係機関等に対し、心から感謝申し上げますとともに、各自治体等におかれましても今後の防災対策の参考にしていただければ幸いです。

平成8(1996)年11月



▲ 震度7の激震は多くのマンションも倒壊させた。(安井町)



共同住宅の1階部分が壊れ ▶  
駐車場の車両も破損  
(青木町)



▲ 多くの尊い命が失われた森貝地区。香榎園市場は全壊した。



▲ 高架部分が崩れ落ちた阪神高速道路：神戸線



◀ 間一髪で転落を免れた長距離スキーバス  
(本町付近)

落橋して道路をふさいでしまった山陽新幹線高架。今回の地震では信じられない光景があらこちらでみられた。(松籟荘)





土砂崩れで多くの犠牲者が  
出た仁川百合野町 ▶



▲ 倒壊した阪急電車の線路沿いを歩く人々。  
(若松町)



▲ 山陽新幹線高架橋が市内7カ所で落橋（上田市）



▲ 「酒蔵館」や「たつみ蔵」が全壊した白鹿記念酒造博物館。



◀ 地震後に発生した火災。  
昼夜関係なく消火・救出活動が続く。  
(仁川百合野町)



自衛隊による救出作業。倒壊した家屋  
の下から1人でも多くの人を助けよう  
と全力が尽くされた。(北口町)



▲ 地震直後から続々と避難する人であふれた中央体育館。

▼ 天皇・皇后両陛下が  
来西され、避難所をご訪問。  
(中央体育館、1月31日)



全国各地から寄せられた数多くの  
救援物資が集められた。



▲ プールに集積 (総合福祉センター)

▼ 市役所1階ロビー



▲ 自衛隊ヘリコプターで運ばれた救援物資をリレーでトラックに移し換え、各避難所などに届けた。



◀ 「兵庫県南部地震西宮市犠牲者合同慰霊祭」  
(県立総合体育館、2月26日)



▲ 西宮市犠牲者の碑に献花される皇太子ご夫妻。



▲ わがまち西宮の再生と復興を誓う馬場順三市長。



▲ ご遺族や市民の方など約3,450人が参列。西宮市域で亡くなられた方々のご冥福を祈った。



▲ 運動場で行われた青空入学式。(安井小学校、4月7日)